

平成 22 年度(2010 年度) 事業計画書

自 平成 22 年(2010 年)8 月 9 日

至 平成 23 年(2011 年)3 月 31 日

1 教育事業

PMF2011 のアカデミー生を選抜するためのオーディションを実施する。PMF2011 では、オーケストラ・アカデミーのほか、若手指揮者を育成するコンダクティング・アカデミーを設ける。PMF2010 で休止したコンポジションについては、「アカデミー」としては設けず、別途、才能のある若い作曲家を「コンポーザー・イン・レジデンス」として招聘することを検討中。

(1) オーケストラ・アカデミー(18 歳から 29 歳までの若手演奏家を対象)

① ライブオーディション

<ヨーロッパ>

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1) ロンドン | 1 月 19 日(水) |
| 2) チューリッヒ | 1 月 21 日(金) |
| 3) ベルリン | 1 月 23 日(日)・24 日(月) |
| 4) ウィーン | 1 月 26 日(水) |
| 5) パリ | 1 月 28 日(金) |

* ヨーロッパでの PMF の周知に力を入れ、参加者も増やしたいという芸術監督ファビオ・ルイジ氏の希望があり、2010 年は、例年オーディションを行って来たロンドン、ウィーン、ベルリンに加え、チューリッヒとローマで初めてオーディションを行った。ベルリンは天候不順で審査員がロンドンから移動できなかったため中止せざるを得なかったが、例年 100 人以上が受験し合格者を多く出すベルリンでオーディションを開催できなかった影響は、2010 年のアカデミー生がアメリカ出身者に偏重する傾向があったことなど少なからずあったと思われる。2011 年は、各楽器に片寄らず全体的に水準の高いベルリン、また、多くの音楽学生が学ぶウィーン、ロンドンで引き続きオーディションを行う。

2010 年に初めてオーディションを行ったチューリッヒはドイツ西部、イタリア北部、フランス東部など周辺各国からのアクセスもよく、オーディション参加者の水準も高かったため引き続き 2011 年も開催することとし、ローマについては合格者が 1 人いたが、受験者が 7 人と少なかったため、前回 2009 年にオーディションを行い 48 人が受験したパリで開催する。

<北米>

- | | |
|-------------|--------------------|
| 6) ニューヨーク | 1 月 30 日(日)31 日(月) |
| 7) フィラデルフィア | 2 月 4 日(金) |
| 8) ボストン | 2 月 6 日(日)・7 日(月) |

- | | |
|------------|------------------------|
| 9) クリーヴランド | 2月9日(水)・10日(木) |
| 10) シカゴ | 2月12日(土)・13日(日)・14日(月) |

* これまで上記5都市にヒューストン、ロサンゼルスを加えた7都市でオーディションを行ってきたが、それぞれの楽器に水準の高い東海岸3都市と弦楽器に優れたクリーヴランド、木管、金管に優れたシカゴの5都市に集約してオーディションを行う。

<日本・アジア・オセアニア>

- | | |
|---------|----------------------|
| 11) 札幌 | 2月17日(木) |
| 12) 東京 | 2月19日(土)20日(日)21日(月) |
| 13) 大阪 | 2月22日(火) |
| 14) ソウル | 2月24日(木) |
| 15) 北京 | 2月26日(土) |
| 16) 香港 | 2月28日(月) |

* アジア地域では、日本国内3都市(札幌、東京、大阪)に加えて、北京、香港、ソウルの計6都市でオーディションを開催することとしたい。これまで開催してきたシドニー、シンガポール、台北の3都市は北京、香港、ソウルと各年で行うことも検討しているが、状況を見ながらその都度判断していく。

② レコーディングオーディション

上記16都市での受験が難しい受験者に対し、レコーディングによるオーディション申込も受け付ける。課題曲はライブオーディションと同様。近年の傾向でCD録音だけでなく、映像を収録しDVDもしくはデータの送付で応募することも技術的に可能になってきているため、レコーディングオーディションのメディアについては引き続き検討し、募集を行う際には決定する。

③ 審査員

ライブオーディションについては、芸術監督ファビオ・ルイジ氏、アレクサンダー・ビューロー氏ほかPMFファカルティに委託予定。川本芸術企画担当部長も必要に応じて審査を行う。レコーディングオーディションについては川本芸術企画担当部長とPMF組織委員会事業企画課で担当する。

④ 審査結果

ライブオーディションとレコーディングオーディションの審査結果を合わせ、PMF組織委員会が最終集計し合格者を発表する。

(2) コンダクティング・アカデミー(18歳から30歳までの若手指揮者を対象)

① レコーディングオーディション

所定の課題曲を指揮している映像をDVD、またはデータ録画し応募する。

* 1990年の初年度、3名の若手指揮者がPMFオーケストラと共にバースタインから学んだ。PMFは今、バースタインの残したものを再確認する時代であることから、20年ぶりに若手指揮者養成のコンダクティング・アカデミーを実施する。

- ② 審査員
芸術監督ファビオ・レイジ氏
- ③ 審査結果
4名の合格者を選抜。

2 演奏会事業

PMF2010 において実施済み。

(2010 年 7 月 8 日～8 月 5 日、計 36 公演、総入場者数 27,992 名。)

3 音楽普及事業

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。従来からの継続事業として実施している野村証券支店との共催による演奏会、ショッピングモール内での演奏会に加え、新規事業として PMF 修了生によるチェンバー・オーケストラを結成し、各地で演奏会を行う。

(1) PMF チェンバー・オーケストラ演奏会(札幌、浜松、東京)

PMF 修了生によるチェンバー・オーケストラを結成し、札幌市・浜松市音楽文化都市交流宣言の一環として浜松市で行われる演奏会に出演する。また、その前後に東京と札幌でも公演を行う。

・ 開催地及び日程

札幌市(札幌コンサートホール Kitara 小ホール) 2011 年 1 月 13 日(木)

浜松市(アクトシティ浜松中ホール) 2011 年 1 月 14 日(金)

東京都(東京オペラシティ コンサートホール) 2011 年 1 月 16 日(日)

・ 指揮者

ダニエル・マツカワ

・ オーケストラメンバー

PMF 修了生(ヴァイオリン 14 名、ヴィオラ 5 名、チェロ 4 名、コントラバス 3 名、フルート 2 名、オーボエ 2 名、クラリネット 2 名、ファゴット 2 名、ホルン 4 名、トランペット 2 名、ティンパニ 1 名)
計 42 名

・ 曲目

ベートーヴェン エグモント序曲

ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品 37

ベートーヴェン 交響曲 第3番 変ホ長調 作品 55

(2) PMF チェンバー・プレイヤーズ・コンサート(東京)

野村証券(株)荻窪支店との共催で実施。同支店からの寄付による事業費の支援、会場の提供、地域への PR 等の協力を得て、地域住民へ音楽鑑賞の機会を提供する。

- ・ 日程 2010年11月16日(火) 2部制(開演時間は調整中)
- ・ 会場 杉並公会堂 小ホール
(出演者、曲目は調整中。)

(3) PMF すずらんファミリーコンサート(札幌)

地域住民が気軽に音楽に触れることができる機会を提供し、併せて PMF を周知することを目的として、2008年度から継続的に実施しているPMF 修了生2~5名によるアンサンブル演奏会を、今後も継続して実施する。

- ・ 日程 月1回程度
- ・ 会場 イオン札幌発寒ショッピングセンター すずらん広場